

使用上の注意改訂のお知らせ

強心・喘息治療剤

処方箋医薬品^注

日本薬局方 アミノフィリン注射液

キョーフィリン[®] 静注250mg

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

2023年10月

製造販売元

杏林製薬株式会社

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

このたび、標記製品の電子化された添付文書（以下、電子添文）の「使用上の注意」の記載内容を改訂しましたのでお知らせ申し上げます。

今後のご使用に際しまして、下記の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容（自主改訂：下線部改訂箇所）

改訂後	改訂前						
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 本剤の成分又は他のキサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴のある患者</p> <p>2.2 12時間以内にアデノシン（アデノスキャン）を使用する患者 [10.1 参照]</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>本剤の成分又は他のキサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴のある患者</p>						
<p>10. 相互作用 (略)</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>アデノシン (アデノスキャン) [2.2 参照]</td><td>本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。</td><td>本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アデノシン (アデノスキャン) [2.2 参照]	本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。	本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。	<p>10. 相互作用 (略：変更なし)</p> <p>←<新設></p>
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
アデノシン (アデノスキャン) [2.2 参照]	本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。	本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。					

2. 改訂理由

● 「2. 禁忌」「10.1 併用禁忌」の項

アデノシン（アデノスキャン注 60mg：第一三共株式会社）の電子添文の「2. 禁忌」及び「10.1 併用禁忌」の項に「アミノフィリン水和物」が記載されていることを踏まえ、製剤間の整合を図るため本剤の電子添文においても「2. 禁忌」及び新設した「10.1 併用禁忌」に薬剤名等を追記し、注意喚起することとしました。

● 改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE 医薬品安全対策情報 No.321」に掲載の予定です。

● 最新の電子添文は、下記ホームページでご参照くださるようお願いいたします。

PMDA ホームページ

<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>



弊社 医療関係者向け医療情報

<https://www.kyorin-pharm.co.jp/prodinfo/>



● 「添文ナビ[®]」を用い、下記 GS1 コードを読み取ることで最新の電子添文等が閲覧できます。



<お問い合わせ先>

杏林製薬株式会社 <すり情報センター>

0120-409341

(9:00-17:30 土・日・祝日を除く)